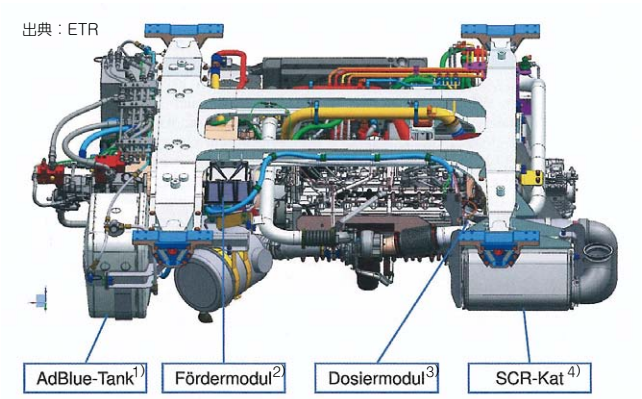
海外鉄道技術情報

WRT誌（Vol.4 No.2）の抄録記事から

車両　ディーゼル列車用駆動システムの新しい取り組み

原題：Antriebssysteme für Dieseltriebwagen
誌名：ETR：Eisenbahntechnische Rundschau　Vol.61 No.11（2012-11）p22-27

Voith Turbo社は多くの鉄道車両用駆動装置や関連システムを開発しているが，近年は駆動システムの高性能化と97/68/EGによる鉄道車両の2012年排ガス規制レベルⅢBに対応する動力システムの開発に力を注いでいる。排ガス規制への対応のため，図に示す選択的触媒還元装置の導入やディーゼルと電気によるハイブリッド化の開発を進めている。



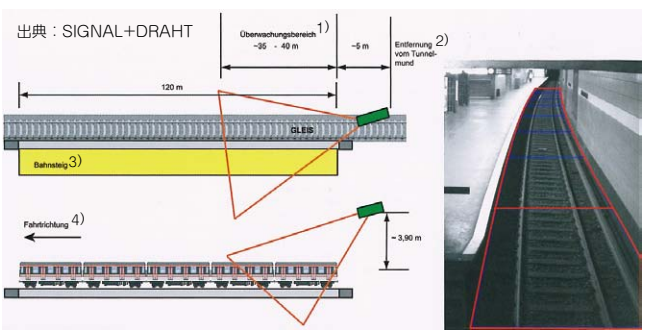
RailPackで選択的触媒還元装置SCRを装備したエンジン

1）高品位尿素水タンク　2）搬送促進部　3）調剤　4）排ガス浄化装置

信号　プラットフォームの端や軌道上の新しい障害物自動検知システム

原題：Ein neues Verfahren zur automatisierten Erkennung von Hindernissen im Bahnsteiggleis
誌名：SIGNAL+DRAHT　Vol.104 No.12（2012-12）p15-20

地下鉄運転，特に駅のプラットフォームにおける旅客の安全は最も高いプライオリティがおかれている。プラットフォームから軌道に転落した乗客は進入してくる列車の危険にさらされる。危険領域に対する自動ガイドウェイ侵入物検知システムは，従来の運転士のいる通常の列車や無人運転列車の安全を高めることができる。



カメラとその監視範囲の関係

1）監視範囲　2）トンネル出口からの離れ　3）プラットフォーム
4）走行方向

輸送　RENFE（スペイン国鉄）は競争への準備をする

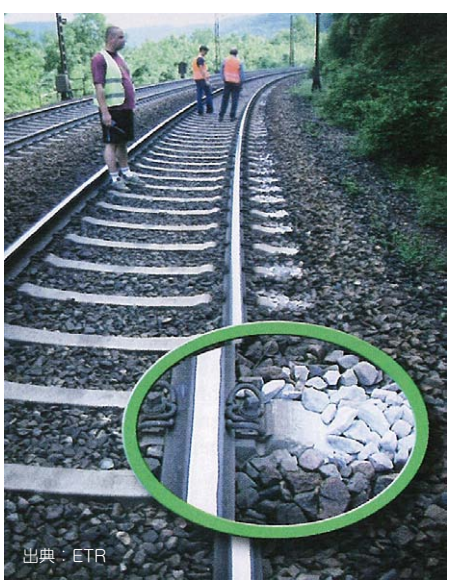
原題：renfe prepares for competition
誌名：Railway Gazette International　Vol.168 No.12（2012-12）p49-52

スペイン国内の鉄道旅客マーケットにおける競争が2013年7月31日から始まる。国有の鉄道運行事業者であるRENFEは4つの会社に分割される。旅客，貨物，車両保守と車両リースの4社である。最初に競争が始まると思われるのは高速鉄道の分野で，フランスのSNCFが参入する可能性がある。今回の計画に関連して4000kmが廃止され，2000人の余剰人員が出る見込みがある。

2013年に予定されている高速線の延伸は，旅客輸送の増加のトリガーになると期待されている。

軌道　耐久性を有する高弾性レールパッド

原題：Dauerhaft hochelastische Zwischenplatten
誌名：ETR：Eisenbahntechnische Rundschau　Vol.61 No.12（2012-12）p40-43



図の白色化は，レール支持の硬さに起因する。弾性支持により取り除くことができる。

レール締結装置には，弾性能力の長期間の保持が要求される。長寿命で経済性の優れたものとして，マイクロセラーEPDM（Ethylen-Prppylen-Dien-Material）を用いた締結装置が開発されているが，Vossloh Fastening System製のcellenticもそのひとつである。

WRT（海外鉄道技術情報）は海外主要鉄道誌の記事抄訳を含め，海外の最新の鉄道技術情報をタイムリーに紹介する季刊誌です。ここに紹介した記事はその一部です。
⇨新刊案内，バックナンバーは総研HP（www.rtri.or.jp）をご覧下さい。
⇨問合先（研友社）　TEL: 042-572-7157　HP：www.kenf.or.jp